

パン作りの全国大会で見事優勝

益城病院の「パン工房まりも」

全国の障がいのある人たちがパンや菓子作りの腕を競う「第4回ユニバーサルベーキングカップ」が、11月28日に横浜市で開催され、本町の益城病院が運営する「パン工房まりも」が見事金賞（優勝）を受賞しました。

受賞した作品は、自家栽培の小麦や黒大豆、天草の天然塩、阿蘇の伏流水などを使った新開発の「阿蘇黒糖パン」で、地産地消による食味と健康に配慮したパンに仕上がっています。



金賞を受賞した「阿蘇黒糖パン」

大会は、障がいの自立を支援するためパン店や洋菓子店のオーナー等でつくるNPO法人「NGB C」の主催で2003年を皮切りに2年に1度開催されており、今年は全国からパンと菓子の両部門に延べ58チームが応募しました。

パン作り約10年の歴史を持つパン工房まりもは、就労訓練施設「健味健康園」の一部として、障がいのある方と職員が、約90種類のパンを日替わりで、毎日焼いています。

パンは、益城病院内売店、外来ラウンジ、レストラン「大河」などで販売しています。



受賞の報告に訪れたパン工房まりものみなさん

プロの奏者が「出前授業」

「カルテット・スピリタス」が各小学校で生演奏

サクソフォン4重奏の「カルテット・スピリタス」が、12月12日の町文化会館でのコンサートに先がけて、12月9日から11日までの3日間、町内の各小学校で「出前授業」を行いました。

これは、プロの演奏家が学校や福祉施設を訪れて、生の音を身近な場所で聞いてもらう「アウトリーチ事業」の一環として行われたものです。

メンバー4人は9日午後、広安小4年3組を訪れ、さっそく生の演奏を披露。楽器の仕組みや楽しいトークも交え、子どもたちを楽しませました。



プロの演奏を間近で楽しみました



号砲とともに一気に飛び出す子どもたち

ちびっ子ランナーが奮闘

町小学生駅伝大会開催

11月23日、第14回小学生駅伝大会が町民グラウンド西側周回コース12区間16.3kmで開催されました。

今回の駅伝には、町内各小学校から14チームが参加。各チーム1年生から6年生までの男女12人が元気いっぱいにつなぎました。

また、沿道には保護者や家族、友達など大勢が詰めかけ、子どもたちに「がんばれー!!」と大きな声援を送っていました。

【大会の主な結果】

- ①広安西パープル②広安西ホワイト③広安西レッド
- ④飯野小はやいんず⑤津森小A⑥広安西イエロー